

事業評価書

補助事業名	伊江村ごみ処理施設有害ガス除去装置等更新工事					
補助事業者名	伊江村長					
実施場所	伊江村字東江上地内					
補助事業の成果の目標	本村のごみ処理施設E&Cセンターは、公害対策施設として村の自然環境及び生活環境を支えている施設である。しかし当該施設は稼働開始から20年を超え、灰出設備(ガス冷底部ダスト搬出装置・No.2飛灰搬出コンベヤ)の腐食・摩耗が進行し、又、有害ガス除去装置(消石灰供給装置・活性炭供給装置)について減速機等に寿命を超えた老朽化が見られ不具合が生じ円滑な施設運営に支障をきたしている。このことから、当該施設の施設更新をすることで、施設の安定的な稼働を確保し、地域住民の生活環境の改善に寄与するものである。					
補助事業の内容	設備更新工事 灰出設備、有害ガス除去装置 1式					
補助事業の始期及び終期	令和7年度					
事業費及び交付金額		令和7年度				計
	事業費	円 54,890,000	円	円	円	円 54,890,000
	交付金額	52,307,000				52,307,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、施設の安定的な稼働を確保し、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 今後、整備後1年間の不具合等を確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1)伊江村広報誌である【イーハッチャー】に掲載予定(7月頃) 2)村ホームページへの記載予定(7月頃)					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、定期的に点検及び整備を行い、本設備の適正な状態を維持することに努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村立伊江中学校運動場改修実施設計業務						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字西江前地内						
補助事業の成果の目標	本屋外運動場施設については、整備より26年以上が経過し、耐用年数超過による老朽化・維持管理・安全性・機能性の低下が著しい施設環境となっている。 そのため、本事業を実施することで、各施設の改修・撤去及び改善の見直しを行い、改修工事の着手が可能となることから、生徒の屋外における安心・安全な学習環境の整備及び最適な施設活用を図ることができる。						
補 助 事 業 の 内 容	実施設計 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 13,626,800	円	円	円	円	円 13,626,800
	交付金額	11,105,000					11,105,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 各施設の改修・撤去及び改善の見直しを行い、改修工事の着手に向けた実施設計が完了した。改修工事の着手を本年7月以降予定しており、生徒の安心・安全な学習環境が整備されるか確認するため、着手の確認をもって成果の目標達成とする。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1)村ホームページ及び広報誌に掲載予定(7月頃)。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も改修工事に向けて学校等との調整を行い、生徒の安心・安全な学習環境の整備に務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	村民レク広場備品購入(ミニホイールローダー)						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	本村では、村民レク広場において村内及び村外からの来訪者がスポーツやレクリエーション、自然環境の中で交流等を行っており、村民の福祉と村の観光振興に寄与している。 しかしながら、保有しているミニホイールローダーは、購入から23年が経過し、経年劣化による故障により使用不可能なため、施設運営や利用者に支障をきたしている状況である。 このため、本事業によりミニホイールローダーの更新を行うことで、安定的な施設運営を図り、村民の福祉の向上と村の観光振興に寄与する。						
補助事業の内容	物品購入(ミニホイールローダー 1台)						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 4,617,800	円	円	円	円	円 4,617,800
	交付金額	4,400,000					4,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことより、ミニホイールローダーが正常に稼働できるようになり、安定的な施設運営を図ることができた。 今後、整備後1年間の不具合等を確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1) 村ホームページ及び広報誌に掲載予定(7月頃)。 2) 車両に「令和7年度沖縄防衛局調整交付金事業」と表示。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的に点検及び整備を行い、ミニホイールローダーの適正な状態を維持することに務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	村民レク広場備品購入(乗用カート、グリーン乗用スニーカー)						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	本村では、村民レク広場において村内及び村外からの来訪者がスポーツやレクリエーション、自然環境の中で交流等を行っており、村民の福祉と村の観光振興に寄与している。 しかしながら、保有している乗用カートは、購入から11年、グリーン乗用スニーカーについては23年が経過し、経年劣化により故障により使用不可能なため、施設運営や利用者に支障をきたしている状況である。 このため、本事業により乗用カート、グリーン乗用スニーカーの更新を行うことで、安定的な施設運営を図り、村民の福祉の向上と村の観光振興に寄与する。						
補 助 事 業 の 内 容	物品購入(乗用カート 3台、グリーン乗用スニーカー 1台)						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 9,537,000	円	円	円	円	円 9,537,000
	交付金額	8,400,000					8,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことより、乗用カート、グリーン乗用スニーカーが正常に稼働できるようになり、安定的な施設運営を図ることができた。 今後、整備後1年間の不具合等を確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1)村ホームページ及び広報誌に掲載予定(7月頃)。 2)車両に「令和7年度沖縄防衛局調整交付金事業」と表示。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的に点検及び整備を行い、乗用カート及びグリーン乗用スニーカーの適正な状態を維持することに務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	観光地巡回パトロール車購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	現在、使用中のパトロール車は、日々、観光地等のパトロールに使用しており、災害時においては、観光地や観光施設の被害状況等の確認を行うために使用している。しかしながら本車両購入から15年が経過し耐用年数の超過や年数経過による老朽化や故障等により、パトロールに支障をきたしている状況である。 このため、本事業によりパトロール車の更新を行う事で、観光地等の維持管理を安定的に行える環境を整備し、利用者が快適に過ごせる環境の保全に取り組むことで、地域全体の観光振興の向上に寄与する。 (参考指標) ・令和6年度故障・不具合回数:5回/年						
補助事業の内容	物品購入 観光地巡回パトロール車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 3,017,300	円	円	円	円	円 3,017,300
	交付金額	2,400,000					2,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、観光地等のパトロールを円滑に行うことができ、災害等が発生した場合には速やかに現場に出動する体制を整えることができた。 引き続き、年間の故障・不具合回数の確認及び車両日誌の記録を行う。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)により周知する。 1)村ホームページ及び広報誌へ掲載予定(7月頃)。 2)本車両へ掲載済。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、定期的に点検及び整備を行い、本車両の適正な状態を維持することに努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村立診療所電子カルテシステム購入						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	伊江村立診療所は本村唯一の医療機関として村民の健康増進と医療の提供を図ってきた。 今回の伊江村立診療所電子カルテシステム購入は、平成29年に購入され、対応年数(6年)の経過や、機器のデジタル化が進む中、電子カルテシステムと透析システムとの間で連携がとれておらず、更にデータの蓄積の多さからバックアップにも時間を要している状況にある。 このことから本事業により電子カルテシステムを購入することにより、村民が安心して安全な医療を提供できる環境を整備するものである。						
補 助 事 業 の 内 容	備品購入 電子カルテシステム 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 28,699,000	円	円	円	円	円 28,699,000
	交付金額	28,100,000					28,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業で電子カルテシステムを購入したことにより、日々透析システムとの接続連携が確認でき、安心・安全な医療を提供できる環境を整備することが出来た。 また、整備後は不具合もなく稼働しているため、成果の目標を達成できたと評価できる。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1)村広報誌(R8.7月)に掲載予定 2)購入機器へ記載済						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も不具合等が起きないように定期的に保守点検を行い、本システムが適正な稼働を行えるよう務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	伊江村立診療所医療機器購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	伊江村立診療所は本村唯一の医療機関として村民の健康増進と医療の提供を図ってきた。 今回の伊江村立診療所医療機器購入は、平成19年に購入され、耐用年数超過による経年劣化や周辺部品の製造中止により、修繕が困難な一般X線撮影装置と、平成29年に購入された医用情報管理システムの耐用年数超過による、周辺部品製造中止により保守管理ができない状況にある。 このことから本事業により医療機器を購入することにより、村民が安心して安全な医療を提供できる環境を整備するものである。						
補助事業の内容	備品購入 一般X線撮影装置 一式、医用画像情報管理システム 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 16,665,000	円	円	円	円	円 16,665,000
	交付金額	16,665,000					16,665,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業により医療機器の更新を行った結果、破損して稼働範囲が制限されていたX線撮影装置も稼働範囲が広がり、医用画像情報管理システムも問題なく稼働することが確認でき、安心・安全な医療を提供できる環境を整備することが出来た。 今後、整備後1年間の不具合等を確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1) 村広報誌(R8.7月)に掲載予定 2) 購入機器へ記載済						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的にメンテナンスを行い、不具合なく適正な稼働を行えるよう務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村学校給食共同調理場備品購入(温水ボイラー)						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	耐用年数が過ぎ本体の老朽化が進み、様々な不具合が起きている。最近では頻繁に修繕があり、安定的な調理や食品食缶洗浄などの衛生面にも影響が出始めている。 このことから、本事業を行うことにより施設環境を整備し、安心して安全な学校給食の安定した提供を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	備品購入 温水ボイラー 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 6,930,000	円	円	円	円	円 6,930,000
	交付金額	6,000,000					6,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施した結果、温水ボイラーが適正に稼働することが確認でき、安心・安全な学校給食を提供できる環境を整備することが出来た。 事業実施後、1年間の故障等の不具合の発生状況を確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1) 村広報誌(R8.7月号)に掲載予定 2) 村ホームページへ(R8.7月)掲載予定						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的なメンテナンスを実施し、適正な稼働の継続に務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村水産業冷凍・冷蔵施設更新工事						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字川平地内						
補助事業の成果の目標	改修を行う、冷蔵施設が整備されている具志漁港は、本村における水産業の拠点港として重要な役割を担っており地域の水産物の供給を支える施設である。 しかしながら、水揚げした漁獲物等を保管する冷蔵施設の損傷や老朽化等により施設の利用に支障をきたしている。 このことから、本事業を実施することにより、漁港施設の安定的な運営を図るとともに、地域住民の産業の振興に寄与するものである。						
補 助 事 業 の 内 容	冷凍・冷蔵施設更新工事 凍結庫制御盤 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 17,600,000	円	円	円	円	円 17,600,000
	交付金額	16,000,000					16,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業により冷凍・冷蔵施設の更新を行った結果、塩害による防熱扉の変形等による室内の冷氣漏れの解消や、扉の開閉が手動のみから自動開閉ボタンで操作可能となったことにより、安全に水産物を格納・取り出しすることが出来た。また、更新前の施設において冷媒ガスが製造中止となっており修理が不可能な状況であったが、その不安についても改善が図られた。 なお、冷凍・冷蔵施設における施設利用者のアンケート調査については、平成22年度に整備された冷凍冷蔵庫3基全てが更新された後、実施を行う予定(令和9年度完了予定)であるため、今般の成果目標の達成条件から除外する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により周知する。 1)村広報誌(R8.7月)に掲載予定 2)村ホームページ(R8.7月)に掲載予定						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的にメンテナンスを行い、不具合なく適正な稼働を行えるよう務める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村水産業振興事業						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	本事業の実施により、本村における沿岸漁業の振興及び漁業生産物の効率的、効果的な供給の確保と近代的な漁業経営の確保を図るとともに、新規就漁者等の確保及び育成を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	水産業振興事業への支援						
補助事業の始期及び終期	令和３年度から令和１５年度まで						
事業費及び交付金額	基金造成額		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		円	円	円			
		交付金	30,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
		市町村費	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	計	30,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	
	基金処分額	17,646,000	17,624,000	17,833,000	21,473,000	31,950,000	
基金残額	12,354,000	14,730,000	16,897,000	15,424,000	3,474,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 令和３年度水揚量227,864kg 水揚金額171,361,488円（軽石の影響による減） 令和４年度水揚量272,861kg 水揚金額251,469,808円 令和５年度水揚量293,867kg 水揚金額251,284,803円 令和６年度水揚量219,852kg 水揚金額172,758,016円 新規就業者１名 令和７年度水揚量255,711kg 水揚金額230,357,118円 令和７年度は、水揚量及び水揚金額ともに前年度比で増加となった。 増加の主な要因として、ソデイカの平均単価が前年度と比較し1kg当たり491円増加（R6:1,033円→R7:1,524円）した事と、モズク養殖について収穫量が前年比1.5倍（R6:42,890kg→R7:64,642kg）となった事が大きく影響した。また、漁船や漁船機器を導入したことにより、安全で効率的、効果的な漁業生産物の供給と近代的な漁業経営の確保が図られたことから、本事業の成果は得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況】 １）村ホームページ（８月）及び広報誌（８月号）に掲載予定。 ２）地元区長会に計画内容を周知予定（８月）。						
事業の改善策及び今後の対応	今後も、本村における沿岸漁業の振興を図る為、効果的な漁業経営の確保に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村立保育所運営事業						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	本村の保育所は、村内に居住している就学前児童に対して保育活動を実施し、子育て世代の定住を促進するため保育サービスを充実させている。 本事業を実施し、今後も安定的な保育所運営を行うことで、子育て世代が利用しやすい保育環境の維持を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	保育士の給与 20名						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和10年度						
事業費及び交付金額	基金 造成額		平成30年度	令和元年～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		交付金	円 35,000,000	円 150,000,000	円 35,000,000	円 45,000,000	円 45,000,000
		市町村費等	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		計	35,000,000	150,000,000	35,000,000	45,000,000	45,000,000
	基金処分額		0	140,000,000	45,000,000	35,000,000	45,000,000
	基金残額		35,000,000	45,000,000	35,000,000	45,000,000	45,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【安定的な保育環境の維持について】 1) 保育活動日数 289日（令和7年度） 2) 保護者へのアンケートを実施予定（R8.7月頃予定） 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1) 村ホームページ（R8.7月）及び広報誌（R8.7月号）に掲載予定。 2) 保育所利用児童保護者へ園だより（R8.7月号）等により周知予定。						
事業の改善策及び今後の対応	今後とも安定的な保育運営を実施し、子育て世代の定住促進のため、保育サービスの充実を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	交通安全施設区画線工事（R7）						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	ウフゲトモリ線～燈台線～マミカ東西線～西崎中央東西線、ナガラ線、中央縦線、ミナト縦線、馬場並里線は、地域住民の主要な生活道路として利用されているが区画線の劣化の為利用者の安全が確保できない状況である。 特にミナト縦線については観光地へのアクセスとなる道路で、シーズンには観光バスの往来が多くある場所である。 以上のことから、本事業により当該道路の区画線を整備することで道路環境の向上を図り、地域住民の安全で円滑な道路交通を確保することを目標とする。						
補 助 事 業 の 内 容	整備工事 区画線工 L=9.1km						
補助事業の始期及び終期	令和7年度						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 9,350,000	円	円	円	円	円 9,350,000
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 利用者及び地域住民へアンケート調査を行った結果、整備後の道路の利用について快適だったとの意見が多く寄せられたことから、本事業による成果を得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。）により周知する。 1）村ホームページ及び広報誌（R8.7月号）へ掲載予定。 2）地元区長会にて計画内容を説明予定。 3）工事看板へ記載済。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民が生活道路として安全に利用できるよう維持管理に努めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村環境衛生施設維持運営事業（基金）							
補 助 事 業 者 名	伊江村長							
実 施 場 所	伊江村立聖苑、伊江村E&Cセンター 伊江村産業廃棄物最終処分場							
補助事業の成果の目標	本村では環境衛生施設として、ゴミ処理施設であるE&Cセンター及び産業廃棄物最終処分場と、火葬場である聖苑が設置されており、村内の適切な自然環境及び生活環境を支えている。 今般、ゴミ処理施設においては、ゴミの減量化・資源化の推進が求められている状況であり、本村としては、前年度よりリサイクル業務の強化に取り組んでいる。このことから、本事業により安定的な施設の運営維持を図り、地域住民の生活環境の改善に寄与する。							
補 助 事 業 の 内 容	環境衛生施設の維持運営							
補助事業の始期及び終期	平成24年度から令和10年度まで							
事業費及び交付金額	基金造成額		平成24年度	平成25～令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			円	円	円	円	円	円
		交付金	112,700,000	78,600,000	10,000,000	10,000,000	15,000,000	30,000,000
		市町村費	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	計	112,700,000	78,600,000	10,000,000	10,000,000	15,000,000	30,000,000	
	基金処分額	0	157,100,000	19,000,000	12,000,000	20,400,000	17,000,000	
基金残額	112,700,000	34,200,000	25,200,000	23,200,000	17,800,000	30,800,000		
環境衛生施設の稼働日数	伊江村立聖苑	伊江村E & Cセンター		伊江村産業廃棄物最終処分場				
	聖苑：46日 火葬（46）	焼却炉：182日 資源化施設：138日		産業廃棄物最終処分場：310日				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 村の火葬場である聖苑や一般廃棄物焼却炉及び資源化施設、最終処分場については、村民の公共的利用施設で今年度も業務に支障をきたすことなく施設運営をすることが出来た。また、台風及び落雷等による影響も特になく例年とおりの稼働実績であった。本事業により地域住民の生活環境の改善を図ることができたことから本事業の成果を得たものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況】 1）村ホームページ及び広報誌（R8.7月号）に掲載予定。 2）地元区長会に計画内容を周知予定。（R8.7月）							
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設の運営維持を行うことにより、引き続き地域住民の生活環境の改善に努める。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村救急患者搬送船運営事業						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村川平地内						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本村では、内閣府補助により、救急患者搬送や沿岸区域での水難事故等の救助活動、災害時の物資供給活動等を行うための「伊江村救急患者搬送船」を平成26年度に整備完了し、本村内の救急医療及び危機管理体制の充実化を図ることとし、平成27年度から供用開始している。 本事業により、本村における伊江村救急患者搬送船の安定的な維持運営により、緊急時に地域住民を本島まで迅速に搬送するため、海上交通の確保・維持し、地域住民の生活環境の向上に寄与するものである。 (参考指標) 間接的指標：救急患者搬送等に係る所要時間 通報から出動まで 約10分 (平成26年度 約15分) 伊江港から渡久地港まで 約15分 (平成26年度 約23分)						
補助事業の内容	伊江村救急患者搬送船運営費						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	平成26年度から令和 8 年度まで						
事業費及び交付金額	基金 造成額		平成26年度 円 8,000,000	平成27年～ 令和 4 年度 円 70,244,000	令和 5 年度 円 8,700,000	令和 6 年度 円 15,000,000	令和 7 年度 円 12,000,000
	交付金						
	市町村費		0	0	0	0	0
	その他		0	277,845	0	0	0
	計		8,000,000	70,521,845	8,700,000	15,000,000	12,000,000
	基金処分額		0	57,543,182	8,700,000	31,000,000	10,000,000
	基金残額		8,000,000	20,978,663	20,978,663	4,978,663	6,978,663
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価について】 令和 7 年度搬送実績 54件 本事業により本島までフェリーで30分かかる航路を平均時間約15分で搬送できていることから救急患者搬送船の安定的な維持運営を行うことができ、地域住民への救急医療の向上を図ることができたことから、本事業の成果は得たものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページ (R8. 7 月) 及び広報誌 (R8. 7 月号) にて掲載予定 2) 地元区長会にて計画内容を周知予定。 (R8. 7 月)						
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設運営・管理に取り組むとともに、年に数回消防機関と連携した搬送訓練を実施し、円滑な搬送が行えるよう取り組んでいく。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	伊江村総合運動公園施設維持運営事業						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字東江前地内（多目的屋内運動場）						
補助事業の成果の目標	本村において、地域住民等の健康増進及びスポーツ振興を図る活動拠点として、多目的屋内運動場、野球場及び総合体育館（以降「伊江村総合運動公園施設」という）の整備を進めており、その内多目的屋内運動場については、平成28年4月から供用開始、野球場は令和元年5月に供用開始、令和4年4月には伊江村総合体育館が供用開始をしている。 このことから、本事業により伊江村総合運動公園施設の安定的な維持運営を確保し、地域住民等の健康増進及びスポーツ振興を推進することによって、地域住民等の福祉の向上を図るものである。						
補 助 事 業 の 内 容	伊江村総合運動公園施設維持管理運営事業						
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和15年度まで						
事業費及び交付金額	基金 造成額		平成27年度	平成28年～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			円	円	円	円	円
		交付金	4,700,000	35,900,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
		市町村費等	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		計	4,700,000	35,900,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
		基金処分額	0	29,200,000	12,700,000	7,000,000	7,000,000
	基金残額	4,700,000	11,400,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより施設の安定的な維持運営を確保し、地域住民の健康増進及びスポーツ振興を推進することができた。 今後、施設利用者へのアンケート調査を実施（R8.9月予定）し、地域住民等の福祉の向上が図られたか確認する。 【地域住民への周知の実施状況】 1） 村ホームページ（R8.7月）及び広報誌（R8.7月号）にて掲載予定。 2） 地元区長会にて計画内容を周知予定。（R8.7月）						
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設管理に取り組むとともに、施設の利用促進を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	伊江村立診療所透析センター維持運営事業					
補 助 事 業 者 名	伊江村長					
実 施 場 所	伊江村字川平地内（伊江村立診療所透析センター）					
補助事業の成果の目標	伊江村立診療所は、本村唯一の医療機関であり、これまで村内における医療・保健の提供及び健康の維持・増進を図ってきたが、本診療所では透析患者に対する設備が整っておらず、これまで透析を受けるためには島外の医療機関への受診しなければならず、患者の身体的精神的な負担は図り知れないものであった。 そのことから今般、本村の医療の充実化を図り、平成26年度に人工透析センターを開設し、透析患者の負担軽減を図った。 本事業により伊江村立診療所透析センターの運営事業を行うことで、安定的な維持運営を図り、地域住民の医療環境の改善に寄与するものである。					
補 助 事 業 の 内 容	伊江村立診療所透析センター維持運営事業					
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	平成26年度～令和10年度					
事業費及び交付金額			平成26年度	平成27～令和5年度	令和6年度	令和7年度
			円	円	円	円
	基金 造成額	交付金	30,000,000	310,000,000	35,000,000	60,000,000
		市町村費等	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		計	30,000,000	310,000,000	35,000,000	60,000,000
	基金処分額		0	304,396,000	35,000,000	60,000,000
	基金残額		30,000,000	35,604,000	35,604,000	35,604,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 令和7年度実績 稼働日数 312日 累計患者数 221人 透析回数 2822回 年間の施設の稼働日数を確認した結果、人工透析センターの安定的な維持運営や医療の安定化による人工透析利用者の負担軽減が図られ、地域住民の医療環境の改善に寄与することが出来たことから、本事業による成果は得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページ（R8.7月号）及び広報誌（R8.7月）に掲載予定。 2) 地元区長会にて事業内容を説明予定。（R8.7月）					
事業の改善策及び今後への対応	今後も安定した医療の提供を確保し、透析患者の負担軽減及び安定した伊江村立診療所透析センターの維持運営を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					